寮友との絢夢は東雲明かりとも 寮で培うこの大志 翠き早緑あまりに深く
あお さみどり

今こそ我が身の翼と成さんいま 佇み移ろう憧れをたたず、うつ あこが

からない できこともしない おれぬ野心を誓いつつ おが身の果ても心緒乱れて我が身の果ても 放浪い往かんはこ 星影映えし原始の森をほしかげはばいばいいまり 碧き雪迪あまりに長く
あお ゆきみち の恵み

六華と月を燈火に

大いなる生命抱え得ておる。またな雄叫び羽ばたきにある。 飛び発たんいざ北斗の雄途

魂の懊悩みは雲散 楡と風とに我等は宿る にれ かぜ われら やど 蒼き天空あまりに広く また てんくう

> 上川 千葉直樹君 雄之君 作曲 作歌